

0355

部隊概況表

其の	一	第	一	方	面	軍	直	轄	}	関係部隊
		第						軍		
		第						軍		

昭和27年3月10日

留守業務部 (第一課関係)

一課

説 明

一 内容区分

終戦時を基準として実在した独立部隊(軍隊区分により編組された部隊を含む)を戦闘序列を基準とし、軍隊区分を考慮して再整理した内容区分は下記の通り

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 関東軍直轄(344、関東下候を除く)
(一特警の無線探査隊を含む) | 8. 第三十軍 |
| 2. 関東軍補給監部 | 9. 第四十四軍 |
| 3. 第一方面軍直轄 | 10. 北方(千島及樺太) |
| 4. 第三軍(七九師、羅津要塞、混成101連を除く) | 11. 北鮮(344、79師、羅津要塞、混成101連を含む) |
| 5. 第五軍 | 12. 航空 |
| 6. 第四軍(関東下候を含む) | 13. 船舶 |
| 7. 第三方面軍直轄(一特警の無線探査隊を除く) | |

④ 改編及び転用部隊の概況表は別冊とし南鮮部隊は作製しない又各課別に別冊とした。

二 各部隊の整理番号は一の区分毎に一連番号をつける。

1. 算用数字は軍令及び戦闘序列による独立部隊を示す
2. 片假名は独立部隊内の小単位で、平時通称号を置き換えられたもの
独立部隊ではあるが、その取扱いが他部隊の兼務(派遣)のもの及び軍隊区分によつて編成せられたもの等復員処理上本概況表に記載するに
適当とするものを示す。
3. どの部隊中を更に細分したものはa、b、cを用いた。

記載上特に規整した事項

1. 番号は前2項の通り
2. 所属は軍隊符号を用い略記をした($\frac{144}{22D}$ $\frac{44}{80BS}$ $\frac{關軍}{150D}$ $\frac{關直轄}{補給}$ 補区内小単位は $\frac{補兵}{連兵}$) 等

0356

3. 所属固有名称は略記することなく正しく記載した。
例、第ノ22師団補導隊 工兵ノ22連隊、63師団工兵隊
4. 通称号は開戦時に於ける平時及び戦時通称号を併記した。
通称号を昭和20年以降変更した部隊は摘要欄にその旨註記した。
5. 隊長官氏名は開戦時の隊長名を記載し、開戦前に隊長が変わった部隊はその旨摘要欄に註記した。
6. 充足人員は部隊資料に基づき開戦時における部隊の充足人員を記入。
7. 現地隊名は昭和20年における現地久隊（現在）着数を記入。
8. 開戦時の位置は主力の所在した地実地に○をつける。
9. 戦斗による損害の程度には戦斗状況の調査を必要とする部隊には○印をつけると共に戦斗損耗の概数を記入する。尚ほ充足人員に対するものを記入。
10. 現地隊数をしたもの又は離隊者の比較的多いものはその概況を簡単に記入。
11. 収容所欄には損耗多量の収容所には○印をつけた。
尚ほソ人員の概数を記入した。
12. 地実面の調査を重視する必要があるものは其地実談当欄に○印をつけた。
13. 留名欄には当該部隊の留守名張のあるものは○印を又編成基幹部隊の留守名張のみのものはその部隊名を記入。
14. 摘要欄に記入した事項
 - イ 死亡推定場面
 - ロ 配属の関係
 - ハ 秘匿名
 - ニ 分派遣着、入院患者の概数
 - ホ その他調査上参考となる事項